

令和元年度 自己評価結果報告書

社会福祉法人ゆうゆう 認定こども園 すみよし愛児園

1. 本園の教育・保育目標

当園では理念として『素朴に丁寧に純真に忍耐強く、子どもを軸として連動する絆を結び、未来社会への人づくり、国づくりの基礎(基盤)力を育む』を掲げています。また、教育保育目標として、目指す乳幼児像は次の3項目になります。

- 1、思いやりのある子ども 2、意欲のある子ども 3、生活の中での決まりの守れる子ども

2. 重点的に取り組んだ目標・評価

保育計画に基づき、子ども達の興味関心、発達に合わせた保育を展開していくようにした。実践記録の充実も図り検証することで、職員一人ひとりが振り返る機会を作り常に見直していった。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
特色を生かした保育を計画し、実践していく。また、評価反省を行う中で、子ども達の情緒が安定し、自己発揮できるような保育を目指していく。	子どもたち自身が主体的に活動できる時間を大切にした。園の環境や森の活動なども積極的に活用し、子ども達の興味関心を広げていくことができた。
認定こども園としての専門性を保育者一人ひとりが理解し、教育保育の質の向上を図るため、園内研修を充実させていく。	保育教諭・栄養士・看護師のそれぞれの専門性を生かし、園内研修や情報共有を行い乳幼児の姿や保育者についての関りを深めていくようにした。子ども達の姿を伝え合う場も作り、自身の言葉で語る力もつけていくようにした。
日々の健康観察や疾病予防のための取組み、衛生管理等を行い、子ども達が安全で安心な生活が送れるよう努めていく。	衛生用品や防災用品の点検の徹底、毎月の防災訓練、看護師による日々の健康観察や保健指導、環境整備等を実施した。コロナウイルス対策で日常の中での感染防止にも努めた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

職員全体が課題の重要性を理解し、積極的に研修に参加したり、園内研修を計画的に行いながら、教育・保育の充実に努めた。今後も客観的に自らの教育・保育を振り返り、あらゆる職種の職員配置があることを強みにし、さらに充実した実践ができるように努力を積み重ねていきたい。施設面では昨年に引き続き環境整備に力を入れており、子ども達が安心して遊べる環境になるように努めてきたので今後も継続して行なっていく。

5. 今後取り組むべき課題

保育内容・保育環境の充実	職員間での共通理解をしっかりと行い一人ひとりの発達や心の声に合わせた保育を展開していく。子ども達の記録を元にそれぞれの保育間や想いを出し合いながら保育の質を高めていく。
危機管理(衛生管理・安全管理)	日常の中で気づいたことなどを職員で共有していき、常に環境を見直したり子どもの姿や成長を予測、想像していく。子どもの命と安全を守る責任を一人ひとりがしっかりと認識し行動していく。看護師とも連携し怪我等への対応の知識を増やしていく。
子育て支援への取り組み	保育教諭・栄養士・看護師などそれぞれの専門性を活かし、在園家庭だけでなく地域の子育て家庭に向けての支援も充実させていく。情報提供や相談など各家庭に必要な支援を考え地域の中で安心して子育てが行えるようにしていく。また、特別な支援が必要な子どもも増えてきているので、専門機関への接続や適切な環境づくりや関りが持てるように職員で連携していく。

6. 学校関係者の評価

子ども達一人ひとりが大切にされる社会の実現に向けて取り組みを継続して下さい。